

一般海域の燃料油硫黄分規制(S分0.5%以下)開始時において、
現状と同様に船舶用エンジンが稼働するために必要な性状値について

種類	性状	値	備 考
C重油	動粘度	50～180mm ² /s (50℃)	A重油同等の動粘度とするために現存内航船が保有している「加熱器」が対応できる動粘度。(外航船は様々な粘度に対応するため「粘度調整器(ビスコン)」を設置)
	CCAI※ ¹ (燃焼性)	860以下	エンジンの着火性を維持するための指標。 ISO規格(RME180※ ²)と同等(C重油は加熱するため、セタン指数ではなくCCAIを指標とする)
	密度	0.991g/cm ³ 以下 (15℃)	エンジンの着火性を維持するための指標。ISO規格(RME180※ ²)と同等
A重油	動粘度	2.00mm ² /s以上 (50℃)	エンジンメーカー各社の推奨値を参考(エンジンの燃料として使用可能な値)
	セタン指数 (燃焼性)	40以上	エンジンの着火性を維持するための指標。ISO規格(DMA※ ³ 、DMZ※ ³)と同等
	密度	0.890g/cm ³ 以下 (15℃)	エンジンの着火性を維持するための指標。ISO規格(DMA※ ³ 、DMZ※ ³)と同等

※1 CCAI: Calculated Carbon Aromaticity Index(計算炭素芳香族指数)

※2 RME180: ISO 8217(2017)「Specifications of marine fuels」に規定する残渣油の種類。日本でのC重油に相当。

※3 DMA、DMZ: ISO 8217(2017)「Specifications of marine fuels」に規定する留出油の種類。日本でのA重油に相当。